

この3日間で時間を守って行動することができ、クラスみんなの仲が深まったと思います。

2年6組 酒井 淳志

大阪のメリケンセンタールで阪神淡路大震災のことについて学んだ。ここでは初めて震災の詳細を知った。

周りの人々で協力して助け合いながら復旧活動をしている様子が見えた。家族や家を失ってしまい辛い状況で助け合っているのを見てとても感動した。協力するということは相手の気持ちも配慮したり誰にでも出来ることではなく気配りが必要なことである。しかし復旧活動やボランティアの人々を見て協力の気持ちとはとても強いと思った。自分も困った人の役に立つ気配りのできるような人間になれるようにしたいです。



2年7組 浅川 耀介

私は、この修学旅行で多くのことを学び、思い出を作ることが出来ました。私達は今回地震について学ぶ為人と防災未来センターに行きました。そこでは阪神淡路大震災について学び充実した1日を過ごす事が出来ました。

待ちに待ったUSJでは、大切な友達と有意義な時間を過ごす事ができました。中でもすごく印象に残っているのは、バックドロップです。後ろ向きで落ちるあの感覚は恐怖そのものでした。

あっという間に終わってしまった修学旅行。後は勉強に励むだけです。成績がバックドロップしないように願っています。



2年8組 佐々 旺健

2年生の後半である12月に3日間の修学旅行がありました。クラスの絆を深める高校3年間の中で最も楽しかった一大イベントで、胸を弾ませながら京都・大阪に向かいました。特に印象に残っていることは、2日目のUSJでのアトラクションやパーティーなどで、日頃の勉強や部のことを忘れて、思いっきり楽しむことが出来ました。今思えばあっという間に過ぎてしまった修学旅行でしたが、これから引退するまで部活に全力で取り組みながら、受験も控えている僕達にとって、この3日間で最高にリフレッシュ出来たと思います。



日程		行程	
第1日	12/2(日)	学校 → 東京駅 → 新神戸駅	7:00 9:00 12:37 13:10
		⇒ クラス別見学 ⇒ 人と防災未来センター	13:30 14:30 15:00 16:30
		⇒ クルーズコンチェルト ⇒ ホテル	16:45 19:10 19:50
クラス別見学：北野工業のまち、メリケンパーク、六甲山牧場、神戸ポートタワーなど			
第2日	12/3(月)	ホテル ⇒ ユニバーサルスタジオジャパン ⇒ ホテル	9:00 9:15 (入場9:30) 19:30
		※ 17:00～19:00 USJ でパーティー	
第3日	12/4(火)	ホテル ⇒ 大阪クラス別見学	8:30 9:15 11:00
		⇒ 新大阪 ⇒ 東京駅 ⇒ 学校	12:00 12:45 15:20 15:50 18:00
		大阪クラス別研修：あべのハルカス、海遊館、道頓堀など	



収穫祭



◎盛況だった「収穫祭」

3年1組 田村 彩花

11月2・3日の2日間に渡り、収穫祭が行われました。

1日目は、豚汁とお赤飯を食べました。みんなが頑張って育てた野菜やもち米、小豆などおいしく味わうことができました。

2日目の一般公開では、私たちのクラスは唐揚げ、ギョウザ、もちワッフル、ジュースの販売を行いました。たくさん種類のやることで手が回らなくなるのではと不安でしたがみんな協力して行うことができました。クラスのため役立てるよう働けたと思います。野菜専攻ではポッポコーンとキュウリの販売を行い、草花のフラワーアレンジメントも手伝いました。お手伝いしたお客様から「ありがとう」等の言葉をもらい嬉しい気持ちになりました。やって良かったと思うことができました。



最後の行事を楽しみることができたので、良かったです。



◎収穫祭でコケ玉販売

3年2組 長嶋 憂弥

私は、11月3日収穫祭でクラスの仲間とコケ玉の販売を行いました。私たちは、少しでも多くのコケ玉を売るため積極的にお客様に声をかけました。

その結果、少しずつお客様が来て下さるようになり販売することができました。その際に私は思ったことがあります。1つ目は、私たちが愛情を込めて作ったコケ玉を買っていただけた喜びを感じることができたことです。2つ目は、コケ玉を真剣に育てようと思ってくれるお客様がいることです。そのようなお客様は、私たちに育て方や水やりのタイミングなどを聞いて下さり、私はとても嬉しくなりました。

コケ玉は、売り切ることはできませんでしたが真剣に聞いて下さるお客様が多く大変良かったです。最後の収穫祭、十分に楽しむことができました。



◎収穫祭の反省

2年1組 田中 萌夏



11月3日に収穫祭が行われました。収穫祭とは農場で生産した農産物等を地域のの人に販売したり農場を知ってもらう行事です。私たちのクラスは自分たちで育てた小豆を使った白玉ゼンざいとカレーうどんの販売を行いました。昨年はネギの販売だけだったので自分たちで調理販売するのは初めてでした。朝早くから集まり大量の白玉ゼンざいとカレーうどんを用意するのは思っていた以上に大変でしたがみんなで協力して行ったのでとても楽しかったです。販売が始まり売れるかと心配でしたが無事完売することができました。たくさんの方に買ってもらうことができてとても嬉しかったです。他のクラスの食べ物も美味しいものばかりで幸せでした。とても充実した収穫祭になりました。

◎収穫祭を終えて

2年2組 額賀 文也

11月2・3日と収穫祭を行いました。初日自分は、クラス用の豚汁係で農場で準備をしました。自分は野菜を洗ったり切ったりする仕事をしました。家でこのような手伝いをするのはあまりないので最初はやり方がわかりませんでした。先生から教えてもらい洗い方、切り方を覚えることができました。一番大変だったのは、ゴボウの土を洗い流す作業と皮むき作業です。ゴボウの土がなかなか落ちず、皮むき作業ではキレイに皮がむけず手がベトベトになりました。しかし、ゴボウを切る作業はよくできました。味付けは上手くでき美味しく豚汁を作ることができました。2日目はお客様販売用の豚汁を作りました。時間が経つにつれ販売が順調になり、228杯販売することができました。自分で作り売るのは初めてだったのでよい経験になりました。



◎収穫祭

1年1組 塚本 圭一郎

初めての収穫祭でとても有意義な時間を過ごすことができました。まず一番最初に育てたネギは、除草や中耕など地味な作業がいかに大事か改めて思った。何より、最初の時と比べて大きくなり成長していたのが一番良かった。長い期間育てたネギが、収穫祭で販売すると20分も経たずに完売しとても驚いた。また、長い行列ができたので大変良かった。楽しかったが、ネギの袋詰め準備も収穫祭前日、大変であった。みんなで協力しながらたくさん畑で収穫できて良かったと思う。また、サツマイモの紅はるかやシルクスイートもたくさん売ることができた。お客様にも喜んでいただけたのが良かった。あと2回収穫祭があるのでクラスの仲間、お客さまと楽しみたいと思う。



◎1・2年生大学模擬授業 10月12日(金)

1年3組 小松崎 莉帆

医療の仕事は、たくさんの方の人々によって成り立ち、1つの職にも役割が分かれていることが分かりました。

また私は医療ドラマも結構見るのですが、そこには出てこない裏で支えているような仕事も知ることができて良かったです。今日帰ったら自分の将来について考えたいと思います。

1年8組 和島 未藍

他の人と同じことをしている、ピンチをチャンスには変えられない。難しいと思っていた経済なども、視点を変えれば日常生活からみつけかけを見付けられ、自由に考えを広げることができるのだと思った。逆転力はいかに弱みを強みに変えられるのかだと思ふ。また先生は話



の中で色々な本を読んで得たことをお話になっていたの、私ももっと本を読んで自分の知識、興味、世界を広げていきたいです。



2年7組 平塚 巨輔

今までの自分にはない考えがあつて、面白かつた。これからの人生において大切なことが分かった。大学の先生の話の進め方や話し方をあらかじめ知っておくと、これから大学に入った時に有利だと思つた。経済・経営のことはあまり分からなかつたけど、なんか面白いと思つた物の見方を変えることで色々なことが起こることが分かつた。



2年8組 吉葉 陸翔

パリアフリーという言葉は聞いたことがあつたが、どういふものかよく分からなかつたので講義でどのようなものか理解できて良かった。講義を通して、ユニバーサルデザインの大切さをよく知つた。今までユニバーサルデザインがどのように役に立っているかまいち分からなかつたけど、ユニバーサルデザインを考慮して設計すれば、どんな人でも、誰でも同じことをすることができると知れた。日本は赤字で難しそうだけど、これから少しずつでも誰でも同じように生活できる社会になれば良いなと思つた。



◎進路指導部より《3年生進路状況》

◎センター試験を143人受験

センター試験が終わり、いよいよ受験本番を迎える時期になりました。センター試験は、全国で約58万人が受験し、本校では143人が受験しました。今年の3年生の大学受験の傾向として、推薦入試の受験者が昨年同様、とても少なくなっています。その結果、一般受験で最後まで頑張ろうという受験生が多くなっています。3年生はこの頑張りを実を結び、好結果が出せると今から期待しています。

◎国公立大学推薦で3人合格

1月20日現在の3年生の進路決定状況を報告します。大学の推薦入試には20人(公募15人、指定5人)が挑戦し、15人(公募10人、指定5人)が合格しました。大学のAO入試には19人が挑戦し、13人が合格しました。主な合格先は、

《公募推薦》

茨城大学(人文2 農学1)
二松学舎大学(1)
国士舘大学(1)
東京家政学院大学(1)
新潟医療福祉大学(1)

《指定校推薦》

東洋大学(1) 麗澤大学(1)

《AO入試》

中央大学(1) 帝京大学(1)
茨城キリスト教(1)
その他、短大は8人が合格しています。短大の進学者は減少傾向にあります。専門学校では、看護医療系専門学校に茨城県立つくば看護専門学校、茨城県立中央専門学校、土浦協同病院付属看護専門学校、東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校などに合格しています。県立農業大学校にも合格しています。

◎就職は58人が内定

本校への求人は昨年とほぼ同数となっています。58人が内定しました。

主な内定先は、日立建機、日本クロージャー、カゴメ、キャノンモールド、ぺんてるケミカル、コマツ茨城、横浜ゴム、吉田精工、博進紙器などです。

公務員は、7名が合格し、内定先は、警視庁、茨城県警、航空自衛隊、石岡消防署、かすみがうら消防署、小美玉市役所などです。



◎PTA 研修視察

PTA監査 篠塚 大輔



9月29日(土)、PTA研修視察が実施されました。

台風24号の影響で小雨模様でしたが、保護者31名と教職員4名の合計35名に参加して頂きました。

本年度は、国士舘大世田谷キャンパスを3人の職員の案内で見学させて頂きました。昨年創立100周年という歴史と伝統のある大学であると同時に最新の施設を備えておりました。都心なのに落ち着いた街並みで、緑あふれる良い環境で勉強できる大学であろうという感想を持ちました。

次にリーガロイヤルホテル東京のダイニングフェリオにてピュッフェのランチを頂きました。週替わりのメイン料理と非常に種類の多いサラダバー・パティシエのデザートにドリンクバー付きで時間一杯まで堪能致しました。

次にホテル雅叙園東京の百段階段で催されていたいけばなの祭典を見学しました。生け花も綺麗でしたが、東京都指定有形文化財の百段階段は『昭和の竜宮城』と呼ばれた豪華な装飾の建物で本当に素晴らしかったです。学校長をはじめ先生方や多くの会員の皆様とも親睦を深めることができて有意義な研修でした。

研修視察は毎年9月末の土曜日に実施しています。来年度も多くの参加をお待ちしております。



◇部活動等の 活躍!!

《弓道部》

☆中野慶吉杯記念大会

男子団体

【1位】高木 健汰
千葉 大地

長谷川 高太

男子個人

【1位】千葉 大地

☆県弓道新人大会

男子団体

【3位】高木 健汰
千葉 大地

狩谷 優太

男子個人

【3位】千葉 大地

《柔道部》

☆県高校柔道新人大会

男子団体

【2位】根本 蓮汰

男子個人73kg

【3位】貴家 翼

《バドミントン部》

☆県高校新人大会

女子団体

【2位】景山 紫帆

女子個人シングル

【1位】海老澤 彩

女子個人ダブルス

【1位】小川 明華

海老澤 彩

《演劇部》

☆県高校総合文化祭

団体

【優秀賞】吉葉 陸翔他

《書道部》

☆高円宮杯書道書道道大展開覧会

個人毛筆の部

【奨励賞】常光寺 結

☆県高校総合文化祭

個人硬筆の部

【優秀】磯 愛実

《国語科》

☆県芸術祭短歌大会

個人短歌の部

【短歌大会賞】

柴田 珠李

《写真部》

☆県高校総合文化祭

個人写真の部

【優秀】藤田 凌平他

《美術部》

☆県高校総合文化祭

個人デザインの部

【優秀】富山 芹

池畑 綾乃

《園芸科》

☆第28回全国産業教育フェア山口大会

個人フラワーアレンジメントコンテスト

【審査員奨励賞】

鈴木 未来

◎PTAからのお知らせ

本年度の収穫祭でのPTAの売り上げは、茨城新聞文化福祉事業団に寄付しました。ご協力ありがとうございました。

◇今後の行事予定◇

3/1 (金)	卒業式
3/5 (火)~7 (木)	生徒自宅学習 (高校入試関係)
3/22 (金)	終業式
4/5 (金)	離任式
4/8 (月)	始業式・新任式
4/9 (火)	入学式
4/10 (水)	課題考査

☆編集後記☆

PTA会報「山王」第138号が完成致しました。

私の娘は3年生なのでPTA活動も終わりです。娘共々充実した3年間でした。沢山の方々に出会い色々な経験をさせて頂きました。人は大人になると1年がとても短く感じます。それは、これまでの積み重ねた経験の慣れからドキミを感じなくなるからだそうです。一度の人生です。もっと、色々な事にチャレンジして日々ドキミを感じてみませんか。そんな親を見て子供達もきっと、素敵だと思えば同じ様なドキミある人生を送ってくれるはずです。

広報委員長

祝 甲子園出場

◇疾風勁草

野球部監督 川井 政平

この度、第91回選抜高校野球大会に出場することができました。これまで多くの方々に応援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。殊に、長年本校野球部を支えてくださったOBの先輩方、いつも温かく生徒を教え導いてくださった教職員の先生方には重ねてお礼申し上げます。今回選出されたチームですが、エース岩本大地は非常に高いレベルの選手ではありますが、チーム全体としては力不足は否めません。過去のチームと比較しても、もっと甲子園に近いチームはあったように感じます。その中でも現チームの長所をあげるとすれば、「主体性」「チーム間での共有性」そして「明るさ」があるのかなと思います。選手たちには、「感謝」と「責任」をもって、今後も人間性を豊かにし、練習に励んでもらいたいです。そして甲子園では、笑顔で奮闘とプレーしてくれることを願っています。

「いつでもどこでも誰の前でも」丁寧な事に当たり、そして「人生は負けたり負けたり」の連続であることを知る。しかし、負けを肯定的に捉えることの大切さに気づき、「また夢に向かって前を向き行動する」ような生き方を今後も生徒と共にしていきたいと思います。

最後に運を運んできてくれた、林部長先生。生徒たちの兄貴分、人見先生。長年支えてくれた前部長、屋代先生。いつもありがとうございます。この場をお借りし感謝申し上げます。

◇新たな文武両道の可能性

野球部部長 林 健一郎

「新しい形の文武両道を示す可能性がある」とは、選抜甲子園出場校を決定する選考委員のコメントです。これまで、文武両道の「文」とは、テストの点数や進学実績が良いことを指していたように思います。しかし、今回の選考においては、テストの点数や進学実績だけでは計ることのできない「学びの成果」について評価して頂けたように思います。

本校は全日制普通科、園芸科、造園科に加え、定時制も設置しており、全国的に見ても数少ない特色のある高校だと言えます。大学進学を目指す生徒もいれば、農業の担い手として活躍することを志す生徒もいます。今回の選考では、このように多様な生徒がそれぞれの目標に向かい「文武両道」を目指している点が評価されたと言えます。

21世紀枠の茨城県推薦校に選ばれた時点から、最終プレゼンテーションまで、推薦文や補助資料の作成を行ってきましたが、100年を超

える本校の教育活動の成果、多くの卒業生や在校生の努力、地域の方々の理解と協力、これらの全てが認められ、甲子園への道が開かれました。感謝の気持ちを忘れずに、甲子園では部員一丸となって全国の強豪校に挑みます。

◇感謝

野球部主将 酒井 淳志

私たち硬式野球部は学校の方々と地域の方々の支えもあり21世紀枠として春の高校選抜高校野球への出場が決定しました。

走っている姿にその人の心が表れるという意味の「走姿顕心」という言葉をモットーに日々練習に取り組んでいます。それは野球のことだけでなく私生活の乱れも野球に影響があるということにも繋がってきます。自分たちは野球で人間性を学ぶことができている。まだまだ未熟ですがしっかりとした真摯で勇ましい姿で走れるように日々精進して野球に取り組んでいきたいと思っています。

そして、この甲子園というのは自分たちの力だけでなく周りの支えがあったことを心に止めこの恩を返すためにも全力プレーで甲子園に挑みます。感謝、謙虚さ、献身的という気持ちを忘れずに、甲子園、更にその次のステージに進んでいきたいと思っています。甲子園の舞台で選手全員が力を出し切ってチーム一丸となり「1勝」を目標として一戦必勝で戦ってきます。そして石岡一高の歴史に残るように頑張ってきます。

